

【参考資料】

＜「キットメール」の生い立ち＞

日本郵便とネスレとの共同企画は、2009年にパッケージにメッセージと宛先を書き込んで、そのままポストに投函できる商品「キットメール」を全国の郵便局で数量限定にて販売したことから始まりました。

受験願書の郵送や合格通知の配達など、受験生と多くの接点を持ってきた郵便局と、受験生にお守りのように親しまれ、受験生応援アイテムとして絶大な支持を得ている「キットカット」を製造・販売するネスレが協力して実現しました。

毎年受験シーズンに臨む全国の受験生を励まし、彼ら自身を応援する人たちから、多くの感謝の言葉と反響を得て大ヒットとなっています。

【過去ラインナップ】

2010年：書家・詩人の相田みつを氏の言葉をしおりにして封入

2011年：「キットカットだるま」と、有名予備校講師からの激励の言葉が書かれた「応援メッセージ」を同梱

2012年：自分の願いとその願いへの道のりを記入して持ち歩くことができる「キット願いかなう地図」を同梱

2013年：初のポップアップ式パッケージを採用。

箱を開けると、満開の桜のポップアップが飛び出すカードのように出現し「キットカット」のリズムで音が鳴る仕組み



「キットメール」 2013 年バージョン

「ネスレ キットカット」の略歴

1935年にイギリスで発売以来、世界70以上の国・地域で販売されているグローバルブランドの「ネスレ キットカット」。この「キットカット」を使った応援は九州の方言で『きっと勝つとお（きっと 勝つよ！）』が「キットカット」に似ていることから、九州を中心に受験生の間で自然に生まれ、2002年頃から受験生の中に 口コミで広まり始めました。今日では、受験生が受験会場に持参したり、受験生を応援する人達（教師・家族・友人）から受験生へ激励の意味を込めて贈ったりする姿も見かけるようになっています。また、「キットカット」は、受験だけではなく、恋愛、スポーツのシーンでも、心の支えのような存在として、大切な人に応援や感謝の気持ちを伝えるコミュニケーションツールとして親しまれています。



「ネスレ キットカット」